

2025年12月18日
横浜ケーブルビジョン株式会社

第45回横浜ケーブルビジョン放送番組審議会

開催日時 2025年12月18日（木） 10:30～12:00

開催場所 横浜ケーブルビジョン（YCV）本社 会議室

番組審議委員 全7名：出席6名／欠席1名

渡邊 敏生 会長 小磯 守 委員 渡邊 晶 委員
瀬沼 幹太 委員 宮本 由美子 委員 田上 敬 委員
河内 宗次郎 委員（欠席）

横浜ケーブルビジョン株式会社

代表取締役社長	田島 真
取締役副社長兼コンテンツ部長	増田 成寿
コンテンツ部制作マネージャー	栗田 浩輔
コンテンツ部編成マネージャー	田光 あずみ（兼事務局）

審議事項

- (1) 編成での取り組みについて
- (2) 自主制作番組について

報告事項

- ・ 放送番組基準についての改定について
- ・ 視聴者からの苦情、意見について
- ・ 監督・関係省庁等公的機関からの注意・指導について

【委員の皆様からのご意見】

- 地域の人を主役にするところが YCV の良い点で、学生の出演や PR 告知など楽しく視聴している。
 - 幼稚園児や学生が出演する番組はとても親しみやすい。
 - 番組自体の素晴らしい魅力に比べ、YouTube や SNS などで番組が視聴可能な環境が整っているにもかかわらず、SNS の認知度や情報の広がりが進まないことが課題。
YouTube は全編配信となっているので、ショート動画、一部配信や検索ワードを工夫してはどうか。
 - LINE については、登録特典があるとよい。(今週のまとめ・オフショット・先行案内など)
 - 番組と SNS をつなげる方法を検討していくと、より幅広い層に認知が広まるのではないか。
-
- SNS のショート動画は、子ども達もよく観ている。最初の入り口であり、大きなきっかけ作りとなる。
 - 地域活性化や親しみやすさなど、地元愛が伝わってくる。
 - 引き続き、子ども達へのフォーカスや YCV のこだわりを深掘りしていくことを要望したい。
-
- 県内での事故件数や死亡者数が増加し、交通安全の啓発活動が必要な状況となっており
YCV 制作の交通安全動画を、旭区内の小学校（全 25 校）での交通安全教室にて上映し活用している。
 - 2026 年 4 月から開始する、自転車の青切符制度（交通反則通告制度）について啓発を要望したい。
 - 地域の祭りでの交通整理の様子を撮影するなど、安全安心情報の拡充を要望したい。
-
- 自転車マナーの啓発を定期的に放送していくことを要望したい。
 - 地域で頑張っている「人」や「モノ」をとても丁寧に取り上げており、地元愛や地域活性化につながっていると思う。このような番組を大切にしていただきたい。
 - 防災訓練に参加する人が減っている。繰り返し参加することで、災害時の行動が身についていくので、YCV で啓発をしていくことを要望したい。
-
- SNS の投稿記事は埋もれてしまいがちなので、SNS でしか見られない出演者のショート動画などの配信をしていくと閲覧数などが上がってくるのではないか。
 - 番組の撮影・収録時に現場での登録促進やアピールを強化するのがよいのではないか。
 - 特殊詐欺などを取り上げる際には、事例などを取り上げるだけでなく、視聴者が他人事にならない内容に改善していくことを要望したい。
-
- 災害プロジェクトチームについては、大変良い取組みだと感じた。
 - 今後も大学生との交流を大切に、商学交流の連携企画を拡大していくことを要望したい。
-
- 「3.11 防災特集」にて、防災アドバイザー田上さんの話を聞き、災害時の備えや地域のつながりをもって、防災に対する意識の向上が大切であると改めて考えさせられた。

【田島社長／横浜ケーブルビジョンの業績・活動内容について】

- ・当社の概要について
- ・当社エリアおよび加入状況について
- ・会社組織について

<新サービスの導入について>

- ・2025年12月 Wi-Fi 7（インターネットサービス）提供開始

<地域との取り組みについて>

① ゆめが丘エリアマネジメント

[2025年3月]

ゆめが丘エリアマネジメント協議会との合同イベント「ゆめが丘 WELL-BEING TOWN FESTA」を実施

[2025年7月]

- ・エリアマネジメント協議会参加各社のプロモーションビデオを制作・放送を受託
- ・劇場版公開のアニメ鬼滅の刃キャラクターとの写真撮影会（ミニショ一付）を開催

② GREEN EXPO 2027

開催500日前記念イベント「花壇づくりで仲間になろう！グリーンなまちづくりを目指して」の撮影・中継を協力し、根岸森林公園、新横浜公園、俣野別邸庭園のWEB三元中継を実施

【増田副社長／挨拶】

YCVチャンネルについてご意見をいただき、ありがとうございます。

SNSについては、様々なコンテンツが溢れでおり難しい局面に来ている。

若年層の傾向も変化してきているため、登録者数などの数値だけを指標とするのではなく、コンテンツに重点を置く戦略にシフトし、情勢やユーザーの動向を見極めながらまた、現場での登録促進も実施し、取り組みを進めていきたい。